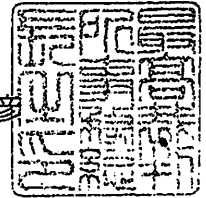


最高裁行三第820号

平成28年12月6日

日本弁護士連合会会長 殿

最高裁判所事務総長 今 崎 幸 彦



アジアにおける知的財産関係紛争の解決に関する国際会議（
仮）に係る共催について（依頼）

最高裁判所では、別紙のとおり、標記の国際会議を知的財産高等裁判所、法務省
及び特許庁との共催で開催することを計画しています。

つきましては、貴連合会におかれましても、標記の国際会議の開催の趣旨を御理
解の上、共催していただきますようお願いいたします。

(別紙)

アジアにおける知的財産関係紛争の解決に関する国際会議（
仮）

1 概要

知的財産権分野における紛争処理能力の向上と法整備支援に焦点を当てて、ASEAN加盟10か国並びに中華人民共和国及び大韓民国の知的財産事件担当裁判官等を我が国に招へいし、標記の国際会議を開催する予定です。

一日目は裁判所が主として担当する特許権についての模擬裁判、二日目は法務省が主として担当する商標、著作権等を中心に据えた発表及びパネルディスカッションを行うこと等を検討しています。

2 日程

平成29年10月30日（月）から同年11月1日（水）までの三日間

3 場所

東京都（弁護士会館クレオを予定）

4 出席者等

- (1) 出席者 ASEAN加盟10か国並びに中華人民共和国、大韓民国及び日本の知的財産関係紛争に造詣が深い者
- (2) 傍聴人 国内外の法曹関係者、研究者及び知的財産制度に関心を有する民間企業関係者等600名程度

5 参加費

無料

以 上

最高裁行三第178号

(庶ろー03)

平成29年3月9日

東京高等裁判所長官 殿

最高裁判所事務総局行政局長 平 田 豊

最高裁判所事務総局秘書課長 氏 本 厚 司

国際知財司法シンポジウムの開催について（通達）

標記のシンポジウムを別紙の要領によって、知的財産高等裁判所長に開催させてください。

(別紙)

国際知財司法シンポジウム開催要領

- 1 主催 最高裁判所，知的財産高等裁判所，法務省，特許庁，日本弁護士連合会及び弁護士知財ネット
- 2 日程 平成29年10月30日（月）から同年11月1日（水）までの三日間
- 3 場所 弁護士会館講堂クレオ
- 4 内容 アジアにおける知的財産関係紛争の解決に関する事項
- 5 出席者等
 - (1) 出席者 日本，中華人民共和国及び大韓民国並びにASEAN加盟10か国（インドネシア，カンボジア，シンガポール，タイ，フィリピン，ブルネイ，ベトナム，マレーシア，ミャンマー及びラオス）の裁判官等の司法関係者
 - (2) 傍聴人 国内外の法曹関係者，研究者及び知的財産制度に関心を有する民間企業関係者等

国際知財司法シンポジウム2017について

1 概要

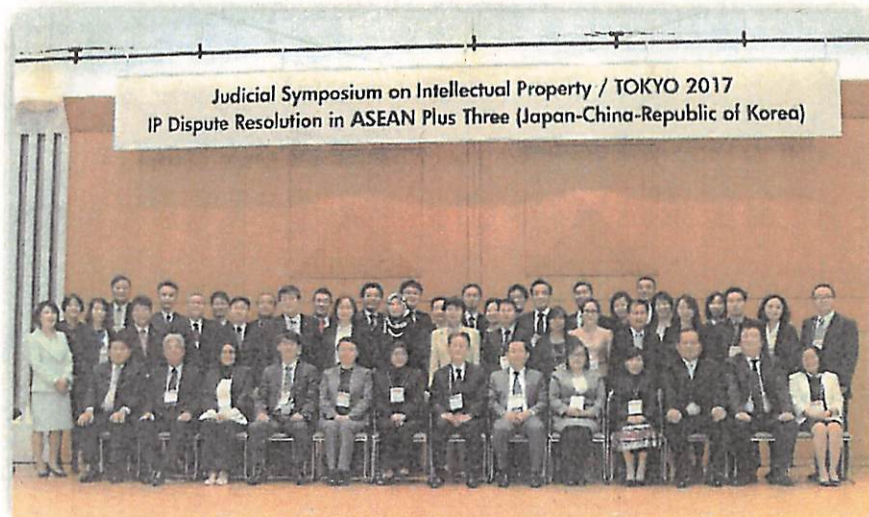
平成29年10月30日から11月1日までの3日間にわたり、弁護士会館講堂クレオにて、「国際知財司法シンポジウム2017～日中韓・ASEAN諸国における知的財産紛争解決～」を開催しました。

本シンポジウムは、最高裁判所、知的財産高等裁判所、法務省、特許庁、日本弁護士連合会及び弁護士知財ネットの6者が共催し、知的財産紛争に関する各国の法制度や課題に対する理解・共通認識を醸成することなどを目的に、中国、韓国及びASEAN諸国の合計12か国から裁判官及び弁護士らを日本に招いて行った初めての試みでした。1日目を裁判所、2日目を法務省、3日目を特許庁がそれぞれ主に担当し、様々なプログラムを実施しました。

3日間を通じて延べ約1300人の参加があり、知財司法に対する関心の高さがうかがわれました。

以下、その様子をご説明したいと思います。

【集合写真（1日目のフォトセッション）】



【1日目の様子（開会の挨拶）】



2 1日目（10月30日）





冒頭で知的財産高等裁判所の清水節所長が主催者を代表して開会の挨拶をした後、日本、中国、韓国及びシンガポールの裁判官及び弁護士による模擬裁判が実施され、知的財産高等裁判所から清水所長、中島基至判事、関根澄子判事及び佐藤聡史裁判所調査官が登壇しました。

模擬裁判では、特許訴訟における証拠収集手続をテーマとして、携帯電話網を構築するための装置に関する特許権の侵害訴訟を題材に、証拠の採否に関する審理の様子が実演されました。裁判官（国によっては当事者代理人も）は、原則として実際に法廷で着用する法服を着用し、会場の参加者も傍聴人として裁判官の入退場時に起立し、裁判官、原告代理人及び被告代理人のやり取りも具体的に行われ、本番さながらの攻防が行われました。日本の模擬裁判では、インカメラ審理や合議の様子など、本来非公開の手続も実演されました。

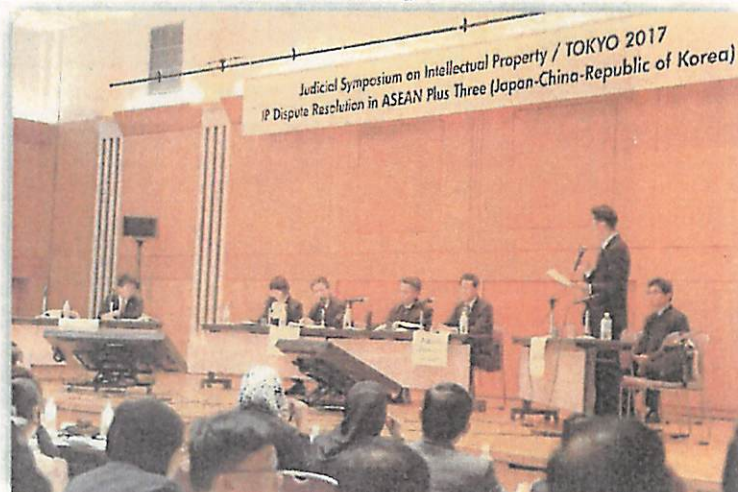
本シンポジウムの事案における証拠収集に関する申立て（書類提出命令、専門家等の証人尋問、検証、書証の申出）のうち、日本が検証及び専門家の証人尋問を実施しなかったのに対し、他の3か国がいずれもこれらを実施

するなど、同一の事実に基づきながらも証拠の採否の判断が国によって異なることが明確になり、その後に行われた各国の登壇者を中心とするパネルディスカッションにおいても活発な議論が行われました。パネルディスカッションの最後には、各国のパネリストから、知財訴訟に関する国際交流や意見交換の意義が指摘され、今回のシンポジウムは各国の繋がりを強くして相互理解を促進する有意義な機会になったとの共通認識の下に1日目が締めくくられました。

【模擬裁判の結果】

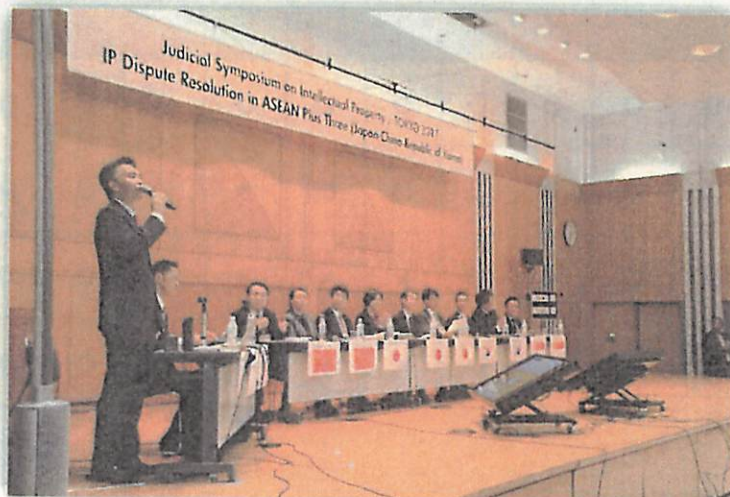
	検証	人証			書類提出命令				審議			
		シェパード博士	アン教授	イーゼル従業員	イーゼルマニュアル部	その他イーゼルマニュアル	ドンキーマニュアル	ソースコード	イーゼル所有の日本国用マニュアル	イーゼル陪審員	シェパード博士専門家意見書	アン教授専門家意見書
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	□	□	□	×	○	○	○	○
	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○
	×	△	△	×	○	×	×	×	○	○	○	○

【1日目の様子(模擬裁判)】





【 1 日目の様子 (総括パネルディスカッション) 】



3 2日目(10月31日)

午前中は1日目に登壇したシンガポールを除くASEAN9か国の裁判官をパネリストに、商標侵害事例をテーマとして、2つの分科会に分かれてのパネルディスカッションが実施されました。第1分科会はメコン川流域を構成するカンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ及びベトナムの各国の裁判官が、第2分科会は、島嶼部を構成するブルネイ、インドネシア、マレーシア及びフィリピンの各国の裁判官が参加しました。

午後の前半には、午前中の分科会でモデレータを務めたお二人の弁護士から、各分科会の報告が行われた後、9か国の裁判官らをパネリストとする総括パネルディスカッションが行われました。

【2日目の様子(分科会)】



午後の後半には、法務省で実施している海外調査研究事業について、知財紛争分野を中心とした発表がなされました。

そして、最後に法務省法務総合研究所の佐久間達哉所長により、2日目全体の総括がなされました。

2日目の参加者からも、欧米や中国、韓国などの国と異なり、活きた情報を入手し難いASEAN各国の情報が入手できる貴重な機会であった等の声が聞かれました。

4 3日目(11月1日)

特許庁長官による基調講演、産業界・学界による講演、特許の進歩性判断・商標の類否判断・悪意の商標出願に関するパネルディスカッションが行われました。

「アジアにおけるビジネスと知財紛争」をテーマとする講演では、ビジネスの現場の視点から、アジアでの知財侵害の状況・課題、アジアにおける模倣品被害及び対策の事例等の紹介がされました。

特許の進歩性判断に関するパネルディスカッションでは、知的財産高等裁判所の高部眞規子部総括判事、中国及び韓国の裁判官らがパネリストとして参加し、用法用量に特徴のある医薬に関する発明の進歩性が争われた事例について、商標の類否判断に関するパネルディスカッションでは、森義之部総括判事、中国、韓国及びシンガポールの裁判官らが参加し、各国における商標の類否判断、とりわけ商標が複数の構成部分の組合せからなる「結合商標」の類否判断の実務について議論が行われました。

シンガポールを除くASEAN各国の裁判官が登壇したパネルディスカッションのテーマ3では、他国でよく知られた商標について悪意のある者が権利を取得した場合の救済措置について、仮想の事例を用いて議論を行いました。このパネルディスカッションでは、パネリストは表裏にYES/

NOと書かれた札を掲げて回答する形式で行われ、聴衆にとって視覚的にも理解しやすいものでした。

閉会の挨拶には、知的財産高等裁判所の鶴岡稔彦部総括判事、法務省の菊池浩官房審議官、特許庁の今村玲英子審判部長、日本弁護士連合会の中本和洋会長が登壇し、各登壇者からは、知財司法分野の国際連携の重要性を強調した上で、国際シンポジウムを継続して開催していくことに対する期待も述べられて、3日間にわたるシンポジウムが無事終了しました。

【3日目の様子（パネルディスカッション）】



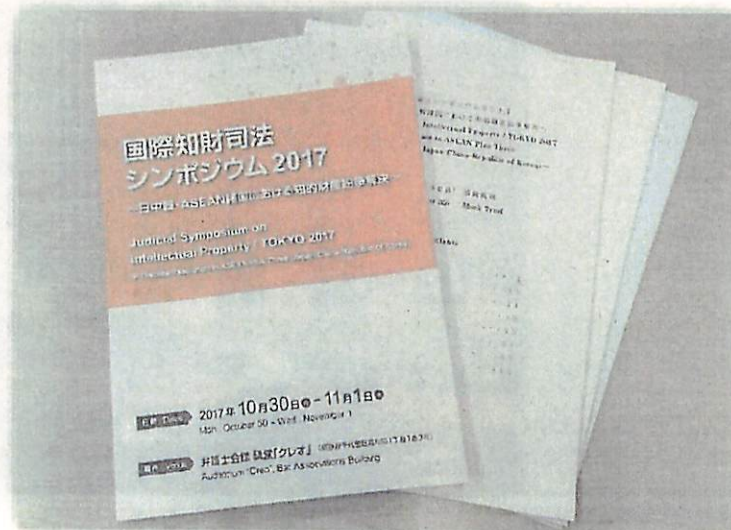
【3日目の様子（閉会の挨拶）】



5 まとめ

今回のシンポジウムは、日本、中国、韓国及びASEAN諸国の知的財産紛争に関わる実務家が一堂に会し、様々な角度から活発な議論が行われ、アジア全体の紛争処理能力の向上に大きく貢献する大変有意義な機会となりました。

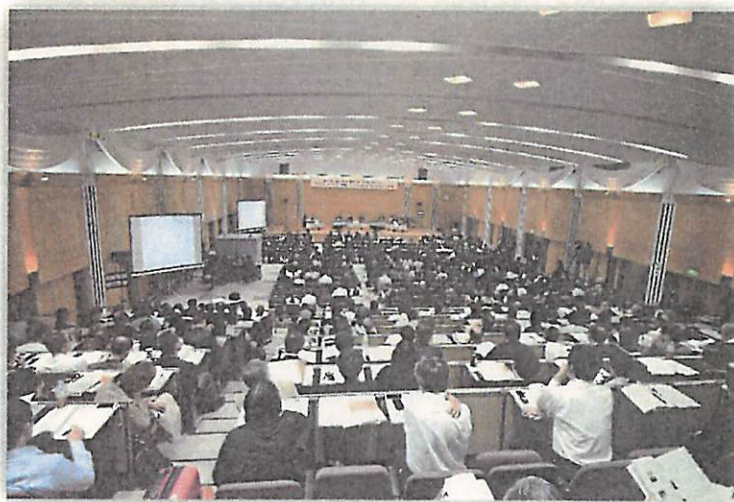
【資料集及び1日目の講演資料】



【受付の様子】



【会場の様子】



■実施プログラム

1日目 平成29年10月30日(月)

10:00 開会

10:00-10:15 あいさつ

知的財産高等裁判所 清水節所長

10:15-10:30 事案説明 ～特許訴訟における証拠収集手続～

知的財産高等裁判所 杉浦正樹裁判官

10:30-10:40 制度概要説明(日本)

知的財産高等裁判所 森岡礼子裁判官

10:40-11:30 模擬裁判(日本)

知的財産高等裁判所 清水節裁判官

知的財産高等裁判所 中島基至裁判官

知的財産高等裁判所 関根澄子裁判官

知的財産高等裁判所 佐藤聡史調査官

日弁連知的財産センター 平野恵稔弁護士

日弁連知的財産センター 村田真一弁護士

11:35-12:35 模擬裁判(中国)

中国北京知識産権法院 Zhang Xiaojin 裁判官

林達劉グループ Qixue WEI 弁護士

林達劉グループ Jie CHEN 弁護士

北京市康達弁護士事務所 Liu Lei 弁護士

北京市康達弁護士事務所 Yan Lian 弁護士

北京市康達弁護士事務所 Lin HAN 弁護士

北京市康達弁護士事務所 Meixi WU 弁護士

北京市康達弁護士事務所 Hongna PEI 弁護士

アンダーソン・毛利・友常法律事務所 Jinning Tu 弁護士

12:35-14:10 休憩

14:10-15:10 模擬裁判(韓国)

韓国特許法院 Hwan-Soo KIM 裁判官

金・張法律事務所 Sang-Wook Han 弁護士

法務法人世宗 Yoon-Hee KIM 弁護士

15:15-15:25 制度概要説明（シンガポール）

シンガポール最高裁判所 Cheng Pei Feng 裁判官

15:25-16:15 模擬裁判（シンガポール）

シンガポール最高裁判所 George Wei 裁判官

シンガポール最高裁判所 Edwin San 裁判官

シンガポール最高裁判所 Cheng Pei Feng 裁判官

シンガポール最高裁判所 Wong Baochen 裁判官

デウリュウ・アンド・ネピア法律事務所 Tony Yeo 弁護士

デントンズ・ロダイク・アンド・デビットソン法律事務所 Foo Maw Jiun 弁護士

16:15-16:30 休憩

16:30-17:30 パネルディスカッション ～模擬裁判の総括～

モデレーター

知的財産高等裁判所 中島基至裁判官

日弁連知的財産センター 村田真一弁護士

パネリスト

知的財産高等裁判所 清水節裁判官

知的財産高等裁判所 関根澄子裁判官

日弁連知的財産センター 平野恵稔弁護士

中国北京知識産権法院 Zhang Xiaojin 裁判官

林達劉グループ Qixue WEI 弁護士

韓国特許法院 Hwan-Soo KIM 裁判官

金・張法律事務所 Sang-Wook Han 弁護士

シンガポール最高裁判所 George Wei 裁判官

デウリュウ・アンド・ネピア法律事務所 Tony Yeo 弁護士

17:30 1日目終了

2日目 平成29年10月31日(火)

9:30-12:00 商標に関するパネルディスカッション

第1分科会

モデレーター

日弁連知的財産センター 城山康文弁護士

パネリスト

カンボジア

控訴裁判所 Chay Chandaravan 裁判官

控訴裁判所 You Bunna 裁判官

ラオス

最高人民裁判所 Chanthanom Sirivath 裁判官

中央人民高等裁判所 Ompasa Sayakoummane 裁判官

ミャンマー

最高裁判所 Myo Tint 裁判官

最高裁判所 Min Thant 裁判官(Law and Procedure Department, Office of the Union Judiciary Supervision)

タイ

最高裁判所 Phattarasak Vannasaeng 裁判官

最高裁判所 Toon Mek-yong 裁判官(Research Justice)

ベトナム

バクニン省人民裁判所 Nguyen Dac Dung 裁判官

ロンアン省人民裁判所 Phan Ngoc Hoang Dinh Thuc 裁判官

司会

法務省法務総合研究所国際協力部 東尾和幸教官

第2分科会

モデレーター

日弁連知的財産センター 相良由里子弁護士

パネリスト

ブルネイ

最高裁判所 Harnita Zelda Skinner 裁判官(Senior Registrar)

インドネシア

タンジュンカラン地方裁判所 Pujiastuti Handayani, S.H., M.H. 裁判官

スラバヤ地方裁判所 Anne Rusiana, S.H., M.Hum 裁判官

マレーシア

クアラルンプール 高等裁判所 Wong Kian Kheong 裁判官(Judicial Commissioner)

フィリピン

カガヤン・デ・オロ市地方裁判所 Dennis Zaballero Alcantar 裁判官

カローカン市地方裁判所 Remigio Magsino Escalada, Jr.裁判官

司会

法務省法務総合研究所国際協力部 横山栄作教官

12:00-14:00 休憩

14:00-14:40 各分科会の議論内容の報告

分科会報告

第1分科会パネルディスカッションモデレーター

日弁連知的財産センター 城山康文弁護士

分科会報告

第2分科会パネルディスカッションモデレーター

日弁連知的財産センター 相良由里子弁護士

司会

法務省法務総合研究所総務企画部 渡邊真知子部付・教官

14:40-15:40 総括パネルディスカッション

モデレーター

第1分科会パネルディスカッションモデレーター

日弁連知的財産センター 城山康文弁護士

パネリスト

第2分科会パネルディスカッションモデレーター

日弁連知的財産センター 相良由里子弁護士

ブルネイ

最高裁判所 Harnita Zelda Skinner 裁判官(Senior Registrar)

カンボジア

控訴裁判所 Chay Chandaravan 裁判官

控訴裁判所 You Bunna 裁判官

インドネシア

タンジュンカラン地方裁判所 Pujiastuti Handayani, S.H., M.H.裁判官

ラオス

最高人民裁判所 Chanthanom Sirivath 裁判官

中央人民高等裁判所 Ompasa Sayakoummane 裁判官

マレーシア

クアラルンプール高等裁判所 Wong Kian Kheong 裁判官(Judicial Commissioner)

ミャンマー

最高裁判所 Myo Tint 裁判官

最高裁判所 Min Thant 裁判官(Law and Procedure Department, Office of the Union Judiciary Supervision)

フィリピン

カガヤン・デ・オロ市地方裁判所 Dennis Zaballero Alcantar 裁判官

カローカン市地方裁判所 Remigio Magsino Escalada, Jr.裁判官

タイ

最高裁判所 Phattarasak Vannasaeng 裁判官

最高裁判所 Toon Mek-yong 裁判官(Research Justice)

ベトナム

バクニン省人民裁判所 Nguyen Dac Dung 裁判官

ロンアン省人民裁判所 Phan Ngoc Hoang Dinh Thuc 裁判官

司会

法務省法務総合研究所総務企画部 渡邊真知子部付・教官

16:00-16:50 発表 ～知財紛争を含む海外調査研究事業～

弁護士法人池田崇志法律事務所 池田崇志弁護士

西村あさひ法律事務所 鈴木健文弁護士

法務省大臣官房司法法制部付 千葉由美子

法務省大臣官房司法法制部付 伊賀和幸(司会)

17:00-17:30 総括

法務総合研究所 佐久間達哉所長

17:30 2日目終了

3日目 平成29年11月1日(水)

9:30-9:40 基調講演

特許庁 宗像直子長官

9:40-10:30 アジアにおけるビジネスと知財紛争

日本経済団体連合会 知的財産委員会 堤和彦企画部会長

東京大学 渡部俊也副学長

10:30-10:45 質疑応答

モデレーター

弁護士知財ネット 林いづみ弁護士

10:45-12:15

パネルディスカッション

テーマ1 特許の進歩性判断に関するケース・スタディ

— 審判実務者研究会より —

モデレーター

久遠特許事務所 奥山尚一弁護士

プレゼンター

特許庁 村上騎見高審判長

パネリスト

特許庁 阿部利英首席審判長

知的財産高等裁判所 高部真規子部総括判事

武田薬品工業株式会社 奥村浩也グローバルIPヘッド

中国北京知識産権法院 Zhang Xiaojin 裁判官

韓国特許法院 Hwan Soo KIM 裁判官

12:15-13:00

休憩

13:00-14:30

パネルディスカッション

テーマ2 商標の類否判断に関するケース・スタディ

— 審判実務者研究会より —

モデレーター

黒瀬IPマネジメント 黒瀬雅志弁護士

プレゼンター

特許庁 青木博文上席部門長

パネリスト

特許庁 阿部利英首席審判長

知的財産高等裁判所 森義之部総括判事

住友電気工業株式会社 佐野裕昭知的財産部長

中国北京知識産権法院 Zhou Liting 裁判官

韓国特許法院 Jootag Yoon 裁判官

シンガポール最高裁判所 George Wei 裁判官

14:30-15:00

休憩

15:00-16:30

パネルディスカッション

テーマ3 討論 — ASEANにおける知財紛争処理 —

モデレーター

早稲田大学 高林龍教授

パネリスト

ブルネイ

中級裁判所 Pg Masni Pg Hj Bahar 裁判官

カンボジア

控訴裁判所 You Bunna 裁判官

インドネシア

タンジュンカラン地方裁判所 Pujiastuti Handayani, S.H., M.H.裁判官

ラオス

最高人民裁判所 Chanthanom Sirivath 裁判官

マレーシア

クアラルンプール高等裁判所 Hanipah Binti Farikullah 裁判官

ミャンマー

最高裁判所 Min Thant 裁判官

フィリピン

カローカン市地方裁判所 Remigio Magsino Escalada, Jr.裁判官

タイ

最高裁判所 Toon Mek-yong 裁判官

ベトナム

バクニン省人民裁判所 Nguyen Dac Dung 裁判官

16:30-16:50 閉会

知的財産高等裁判所 鶴岡稔彦部総括判事

法務省 菊池浩官房審議官

特許庁 今村玲英子審判部長

日本弁護士連合会 中本和洋会長

支出決定決議書

支出決定する。 官署支出官	代行機関	確認者	入力者

整理番号	発議年月日	年度	負担官区分	相殺請求番号	案件番号
0028323	30. 1. 19	29	00		

所 会 部	管 計 等	03 00000 010 010	裁判所 一般会計 裁判所 最高裁判所
目		091010	庁費
目 の 細 分			雑役務費（年額以外） その他
債 主	氏 又 名 は 称 住 所	000191264 東京都新宿区四谷 4-3 4-1	 新宿御苑前アネックスビル
金 融	機 関 店 舗		
預 貯 金 種 別		口座番号	金額 2,367,072 円
支出負担行為時の 債主コード 受入年度 及び 受入科目名	000191264	支払回数	支出決定済額累計 円
支出決定区分	01 通常	支払時期	1 通常
支払方法	3 振込	外貨額	
外貨名			
分任官			
分任官整理番号			

摘 要	*知的財産司法国際シンポジウム運営等業務（総価部分）
--------	----------------------------

工 事	
仕 訳 区 分	5213 庁費等
勘定科目（借方）	
勘定科目（貸方）	
予 算 事 項	006 裁判運営の充実に必要な経費
主要経費別分類	95 その他の事項経費

内 訳 種別	略科目 コード	部分払 区分	支払予定 年月日	精算予定 年月日	債主別 出力区分1	支払実績 出力区分2
	005302		30. 1. 26			

国庫債務負担行為整理番号	設定年度
国庫債務事項	
電文通番	00070



支出負担行為即支出決定決議書

支出負担行為する。 支出負担行為担当官 確認する。 支出決定する。 官署支出官	(代行機関)	課長補佐	確認者 入力者
	(代行機関)主計課長		

整理番号	発議年月日	確認予定年月日	年度	負担官区分	相殺請求番号	案件番号
0154654	30. 1. 19	30. 1. 19	29	00		

所会部	管計等	03 00000 010 010	裁判所 一般会計 裁判所 最高裁判所
目		091010	庁費
目の細分			
債	氏又名	000191264	雑役務費(年額以外) その他 (株) オーエムシー
主	住 所	東京都新宿区四谷4-34-1 新宿御苑前アネックスビル	
金融	機 関		
預貯金種別	口座番号		金額 547,110 円
外貨	外貨額		
受入年度及び受入科目名			
負担区分	01	通常	
支出決定区分	01	通常	
支払方法	3 振込	支払時期 1 通常	
精算額		円	最終表示 未精算額 円
分任官			
分任官整理番号			

摘 要	*知的財産司法国際シンポジウム運営等業務(単価部分)
-----	----------------------------

局工	課事	12	経・用度課
仕訳区分	5213	庁費等	
勘定科目(借方)	181100000000	庁費等	
勘定科目(貸方)	020500000000	未払金	
予算事項	006	裁判運営の充実に必要な経費	
主要経費別分類	95	その他の事項経費	

発議係コード	内 記 件数	関連番号	支払回数	略科目コード	課税対象表示	値主別出力区分1	支払実績出力区分2
04				005302			
支払予定年月日		30. 1. 26	精算予定年月日				

国庫債務負担行為整理番号	設定年度
国庫債務事項	
電文通番	00068



請 求 書

主計課長
用度課長



平成30年1月17日

最高裁判所 御中

住 所 東京都新宿区四谷四丁目 34 番地 1
名 称 株式会社オーエムシー
代表者 代表取締役 力武寛

下記のとおり請求いたします。

記

1 業 務 名 知的財産司法国際シンポジウム運営等業務

2 金 額 総価部分 2,367,072円(税込)
単価部分 547,110円(税込)

合計御請求金額 2,914,182円(税込)

裁 判 所
最高裁判所
庁 費

④ 運 雑 役 務 費 (年額以外)
(その他)

総価 年 2,367,072

単価 年 547,110

3 振込先等

- ・ 振込先金融機関
- ・ 支店名
- ・ 預貯金種別
- ・ 口座番号
- ・ 口座名義



支出負担行為即支出決定決議書

支出負担行為する。 支出負担行為担当官 確認する。 支出決定する。 官署支出官	(代行機関)	課長補佐	確認者	入力者
	(代行機関)主計課長			

整理番号	発議年月日	確認予定年月日	年度	負担官区分	相殺請求番号	案件番号
0123429	29.11.27	29.11.27	29	00		

所	管	03	裁判所
会	計	00000	一般会計
部	局	010	裁判所
項	等	010	最高裁判所
目		096010	招へい外国人滞在費
目の細分			
債	氏又名	000000566	招へい外国人滞在費
主	住所		グラントーク半蔵門
金融機関	支店		
預貯金種別	口座番号		金額 1,324,400 円
外貨			外貨額
受入年度			
受入科目名			
負担区分	01	通常	
支出決定区分	01	通常	
支払方法	3 振込	支払時期 1 通常	
精算額		円 最終表示	未精算額 円
分任官整理番号			

摘 要 *国際知財司法シンポジウム2017における宿泊施設提供業務 (単価契約)

局工	課事	12	経・用度課
仕訳区分	5213	庁費等	
勘定科目(借方)	181100000000	庁費等	
勘定科目(貸方)	020500000000	未払金	
予算事項	006	裁判運営の充実に必要な経費	
主要経費別分類	95	その他の事項経費	

発議係コード	内 訳	関連番号	支払回数	略科目コード	課税対象表示	債主別	支払実績
04	種別 件数			008717		出力区分1	出力区分2
支払予定年月日		29.12.4	精算予定年月日				

国庫債務負担行為整理番号	設定年度
国庫債務事項	
電文通番	00151



GFH
ホテル グランドアーク半蔵門
Hotel Grand Arc Hanzomon
総合請求書



平成 29 年 11 月 21 日

〒102-8051
東京都千代田区隼町 4-2

最高裁判所 様



ご宿泊日	室数	人数	一室単価(税・サ・朝食込)	合計(税・サ・朝食込)
10月29日	22	22	¥15,400	¥338,800
10月30日	22	22	¥15,400	¥338,800
10月31日	22	22	¥15,400	¥338,800
11月1日	20	20	¥15,400	¥308,000
総合計				¥1,324,400

適用法令
会計法第29条の3第4項
予算決算及び会計令第102条の4第3号

東京都千代田区三番町 6 番 8
警察共済組合
東京都千代田区隼町 1-1
ホテルグランドアーク半蔵門
総支配人

請求書発行後、30 日以内にお支払いをお願い申し上げます。
お振込みの場合、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

振込先：口座名
振込先金融機関：



裁判所
最高裁判所
招へい外国人滞在費



雑役務費

招へい外国人滞在費

支出決定決議書

支出決定する。	代行機関
官署支出官	

確認者	入力者

整理番号	発議年月日	年度	負担官区分	相殺請求番号	案件番号
0089336	29.12. 6	29	00		

所	管	03	裁判所
会	計	00000	一般会計
部	等	010	裁判所
局		010	最高裁判所
項			
目		096010	招へい外国人滞在費
目の細分			
細		雑役務費	招へい外国人滞在費
債	氏又名	000272655	株式会社 J F C
主	住所		東京都豊島区西池袋 3-22-6
金融	機店		
預貯金種別			
支出負担行為時の		口座番号	金額
債主コード		支払回数	8,618 円
受入年度		支出決定済額累計	円
受入科目名			
支出決定区分	01 通常		
支払方法	3 振込	支払時期	1 通常
外貨名		外貨額	
分任官			
分任官整理番号			

摘	要	* 国際知財司法シンポジウムの昼食会における弁当提供業務
---	---	------------------------------

工	事	
仕訳区分	5213	庁費等
勘定科目(借方)		
勘定科目(貸方)		
予算事項	006	裁判運営の充実に必要な経費
主要経費別分類	95	その他の事項経費

内	訳	略科目	部分払	支払予定	精算予定	債主別支払実績
種別	件数	コード	区分	年月日	年月日	出力区分1 出力区分2
		008717		29.12.13		

国庫債務負担行為整理番号	設定年度
国庫債務事項	
電文通番	00020



支出負担行為即支出決定決議書

支出負担行為する。 支出負担行為担当官 確認する。 支出決定する。 官署支出官	(代行機関)	課長補佐	確認者	入力者
	(代行機関)主計課長			

整理番号	発議年月日	確認予定 年 月 日	年度	負担官 区 分	相殺請求番号	案件番号
0124475	29.12. 6	29.12. 6	29	00		

所	管	03	裁判所
会	計	00000	一般会計
部	局	010	裁判所
項	等	010	最高裁判所
目		096010	招へい外国人滞在費
目の細分			
細	氏名	000272655	招へい外国人滞在費
債	氏名		株式会社 J F C
主	住所		東京都豊島区西池袋 3-22-6
金融	機関		
店	舗		
預貯金種別	口座番号		金額 24,840 円
外貨名			外貨額
受入年度			
及び			
受入科目名			
負担区分	01	通常	
支出決定区分	01	通常	
支払方法	3 振込	支払時期 1 通常	
精算額		円	最終表示 未精算額 円
分任官			
分任官整理番号			

摘 要 *国際知財司法シンポジウムの昼食会における弁当提供業務(単価分)

局	課	12	経・用度課
工	事		
仕訳区分	5213	庁費等	
勘定科目(借方)	181100000000	庁費等	
勘定科目(貸方)	020500000000	未払金	
予算事項	006	裁判運営の充実に必要な経費	
主要経費別分類	95	その他の事項経費	

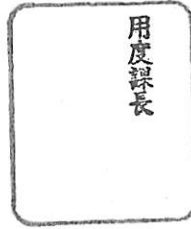
発議係	内 記	関連番号	支払回数	略科目	課税対象	債主別	支払実績
コード	種別	件数		コード	表 示	出力区分1	出力区分2
04				008717			
支払予定年月日	29.12.13	精算予定年月日					

国庫債務負担行為整理番号	設定年度
国庫債務事項	
電文通番	00018



請求書

〒 102 - 8651
東京都千代田区隼町
4-2 最高裁判所
最高裁判所 御中



[ご注文日] 2017/10/23

[注文番号] 68



キッチンマレーチャン

<http://www.malaychan-satu.jp/>

株式会社J.F.C
代表取締役 福澤 肇子
〒 171 - 0021
東京都豊島区西池袋
3-22-6
TEL: 03-5391-7638
Email: [redacted]

お振込先

今回ご請求額

[お届け先]

〒 102 - 0013
東京都千代田区霞が関
1丁目1-4 東京高等裁判所
最高裁判所 御中

総合計金額 33,458 円

お支払い方法: 銀行振込

お届け日: 2017/10/30

お届け時間: 11:15~11:30

商品名	数量	単価(税抜)	金額(税込)
【国家機関・行政機関様向け】ハラルオーダーメイドメニュー	23	900円	22,356円
500mlペット水 (ハラル)	23	100円	2,484円
出来たて弁当配送料	1	7,980円	8,618円
		商品合計	33,458円
		ハラル表示料	0円
		手数料	0円
		値引き	-0円
		請求金額	33,458円

平
総

<備考>

裁 判 所
最 高 裁 判 所
招へい外国人滞在費

④ 雑役務費
招へい外国人滞在費
総価 ¥ 8,618
単価 ¥ 24,840